



## 平成23年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年3月9日

上場取引所 東

上場会社名 アヲハタ株式会社

コード番号 2830 URL <http://www.aohata.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福山 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営推進本部長

(氏名) 野澤 栄一

TEL 0846-26-0111

四半期報告書提出予定日 平成23年3月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年10月期第1四半期の連結業績(平成22年11月1日～平成23年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年10月期第1四半期	4,465	3.6	303	28.6	305	30.0	146	8.2
22年10月期第1四半期	4,309	△5.9	236	68.7	235	69.9	135	112.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年10月期第1四半期	21.34	—
22年10月期第1四半期	19.72	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
23年10月期第1四半期	12,090		8,766		71.3	1,251.82
22年10月期	12,252		8,666		69.6	1,237.83

(参考) 自己資本 23年10月期第1四半期 8,621百万円 22年10月期 8,525百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年10月期	—	7.00	—	8.00	15.00
23年10月期	—				
23年10月期(予想)		7.50	—	7.50	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年10月期の連結業績予想(平成22年11月1日～平成23年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,500	1.0	524	△18.2	530	△17.8	300	△21.5	43.56
通期	18,900	3.6	947	△0.1	960	0.5	560	△5.1	81.31

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）  
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年10月期1Q 6,900,000株 22年10月期 6,900,000株  
② 期末自己株式数 23年10月期1Q 12,764株 22年10月期 12,671株  
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年10月期1Q 6,887,283株 22年10月期1Q 6,887,643株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における国内経済は、海外経済の改善や各種経済政策の効果などを背景に企業収益の改善をはじめ景気全般に持ち直しの動きがみられた一方、失業率が依然として高水準にあるなど先行きに対する懸念材料も多く、厳しい状況で推移してきました。消費者物価はこのところ下落テンポが緩やかになりましたが、食品の販売場面での低価格訴求は継続しており、緩やかなデフレ状況にあります。また、原油をはじめ、砂糖や穀物類など主要作物の国際相場は天候不順などの影響によって高騰しており、原材料の仕入れ価格の上昇に予断を許さない厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは年度方針として、引き続き「1. 人材育成」「2. 原料起点経営」「3. コスト挑戦」「4. 営業革新」に取り組み、基盤強化と体質転換を図るとともに、「5. 新商品の創出」を重要課題と位置づけ売上の創出に努めることをテーマに掲げ、新年度をスタートさせました。

売上につきましては、ジャム類では「アヲハタ・55ジャム」シリーズは伸長しましたが、「ランプ」シリーズが下回り、全体では前年同期をわずかに下回りました。調理食品類は「パスタ倶楽部」シリーズが下回りましたが、昨年秋のリニューアル後、好調を維持している「キューピーやさしい献立」シリーズが大幅に伸長し、全体では前年同期をわずかに上回りました。産業用加工品類は、かねてから取り組んでおりました大口ユーザー様の新規開拓による受注が増加しフルーツ・プレパレーションが伸長しました。また、フルーツ原料販売も好調に推移したことにより、全体では前年同期を上回りました。以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は44億65百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

利益につきましては、原材料価格が一部を除いて概ね安定して推移したことや利益改善活動の継続などにより、営業利益は3億3百万円（前年同期比28.6%増）、経常利益は3億5百万円（前年同期比30.0%増）、四半期純利益は1億46百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億62百万円減少し120億90百万円となりました。資産の増減の主な要因は、現金及び預金の減少6億70百万円、商品及び製品の増加1億65百万円、原材料及び貯蔵品の増加3億6百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億61百万円減少し33億23百万円となりました。負債の減少の主な要因は、未払法人税等の減少1億56百万円、賞与引当金の減少1億47百万円などです。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ99百万円増加し87億66百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加91百万円などです。

## キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6億70百万円減少し、5億7百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、5億29百万円（前年同期比1億59百万円の支出増加）となりました。主な増減要因は、税金等調整前四半期純利益2億51百万円に加え、たな卸資産の増加4億65百万円および賞与引当金の減少1億47百万円などによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、90百万円（前年同期比78百万円の支出減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得99百万円などによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、50百万円（前年同期比6億30百万円の支出増加）となりました。主な要因は、配当金の支払49百万円などによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、厳しい経営環境が続くことが予想されますが、新製品の投入による販売の活性化や全社的な利益改善活動の継続などによる利益の掘り起こしを軸に売上および利益の向上を目指してまいります。当第1四半期までの業績は概ね当初予想どおりに推移しており、平成22年12月9日の決算発表時に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はございません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 簡便な会計処理

(棚卸資産の評価方法)

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### 2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第1四半期連結累計期間の営業利益は198千円、経常利益は289千円および税金等調整前四半期純利益は54,001千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は58,773千円であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	507,858	1,178,306
受取手形及び売掛金	3,262,701	3,164,819
商品及び製品	1,162,349	996,676
仕掛品	41,775	47,821
原材料及び貯蔵品	2,068,224	1,762,112
その他	177,584	289,753
貸倒引当金	△16,525	△16,635
流動資産合計	7,203,969	7,422,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,707,474	1,724,078
機械装置及び運搬具(純額)	1,002,385	943,339
土地	1,324,662	1,324,662
その他(純額)	64,602	64,768
有形固定資産合計	4,099,124	4,056,848
無形固定資産	62,965	67,032
投資その他の資産		
投資有価証券	399,610	396,930
その他	329,607	313,906
貸倒引当金	△5,256	△5,331
投資その他の資産合計	723,961	705,505
固定資産合計	4,886,051	4,829,385
資産合計	12,090,020	12,252,241
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,114,559	2,083,955
未払法人税等	60,320	216,901
賞与引当金	128,369	275,894
役員賞与引当金	1,901	5,745
その他	507,913	559,364
流動負債合計	2,813,064	3,141,860
固定負債		
退職給付引当金	375,317	364,299
資産除去債務	58,834	—
その他	76,603	79,147
固定負債合計	510,755	443,447
負債合計	3,323,819	3,585,307

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	644,400	644,400
資本剰余金	714,594	714,594
利益剰余金	7,204,769	7,112,905
自己株式	△13,321	△13,195
株主資本合計	8,550,443	8,458,704
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	73,086	71,310
繰延ヘッジ損益	△1,964	△4,659
評価・換算差額等合計	71,122	66,650
少数株主持分	144,635	141,578
純資産合計	8,766,200	8,666,934
負債純資産合計	12,090,020	12,252,241

## (2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年1月31日)
売上高	4,309,824	4,465,949
売上原価	3,588,097	3,730,360
売上総利益	721,727	735,589
販売費及び一般管理費	485,428	431,729
営業利益	236,299	303,860
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	406	458
受取賃貸料	6,151	6,100
その他	1,108	2,784
営業外収益合計	7,668	9,345
営業外費用		
支払利息	612	36
賃貸費用	3,928	3,573
固定資産除却損	4,056	3,590
その他	105	78
営業外費用合計	8,703	7,277
経常利益	235,263	305,927
特別利益		
貸倒引当金戻入額	472	185
特別利益合計	472	185
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	53,712
投資有価証券評価損	—	460
特別損失合計	—	54,172
税金等調整前四半期純利益	235,735	251,940
法人税、住民税及び事業税	35,563	60,977
法人税等調整額	57,201	39,972
法人税等合計	92,764	100,950
少数株主損益調整前四半期純利益	—	150,990
少数株主利益	7,172	4,027
四半期純利益	135,799	146,962



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	235,735	251,940
減価償却費	108,144	111,837
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△147,339	△147,524
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,212	△3,843
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10,146	11,018
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△472	△185
受取利息及び受取配当金	△407	△460
支払利息	612	36
有形固定資産除却損	4,056	3,590
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	53,712
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	460
売上債権の増減額 (△は増加)	81,704	△97,882
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△249,749	△465,738
仕入債務の増減額 (△は減少)	△134,445	30,603
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△9,458	55,585
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△11,991	△125,156
その他	△3,222	△4,807
小計	△121,897	△326,813
利息及び配当金の受取額	407	460
利息の支払額	△708	△34
役員退職慰労金の支払額	△25	△285
法人税等の支払額	△251,469	△206,398
その他の収入	3,204	3,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	△370,487	△529,960
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△164,859	△99,260
無形固定資産の取得による支出	△1,756	△591
有形固定資産の売却による収入	26	2,573
投資有価証券の取得による支出	△2,063	△64
投資有価証券の売却による収入	341	—
その他	181	7,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△168,129	△90,085
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	625,000	—
自己株式の取得による支出	△59	△125
配当金の支払額	△42,414	△49,473
少数株主への配当金の支払額	△2,400	△800
財務活動によるキャッシュ・フロー	580,125	△50,399
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	41,504	△670,448
現金及び現金同等物の期首残高	240,361	1,178,306
現金及び現金同等物の四半期末残高	281,865	507,858

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。